

スペリア便り

中高一貫生のための
スペリア superior
2021年8月号
2021.7.21 発行

盛夏の候、みなさまご健勝のことと存じます。

いよいよ夏休みが始まりました。

今月の生徒面談での大きなテーマの一つは「夏休みの学習計画」でした。1学期の学習を振り返って、自分なりの課題と目標をはっきりと定め、具体的な学習計画を立てることは夏の学習を充実したものにするための必須条件です。

生徒の皆さんは塾の夏期の学習予定については「目標達成シート」で作ったはずですので、毎回の授業内容の理解を達成目標にまで深められるようにしていきましょう。

夏期講習はふだんよりは長めの授業時間で、学校で習った内容の復習から全国標準の模試レベルの応用・実践問題まで取り組みます。数学・英語のライブ授業は通常の曜日に、国語・理科・社会の映像授業は自分が決めた曜日・時間帯で受講します。

授業以外の時間でも質問の対応はできます。また、自習用のスペースもあるので、塾を大いに活用してください。

学習面ばかりではなく、ふだんはやりたくてもできなかったことにも積極的に取り組んでほしいと思います。

では、まずは計画をしっかりとこなせるように意識を向けていきましょう！そこから夏休みの自由な時間が広がっていくはずですよ。

夏期～9月期の予定

- 7月19日(月) 夏期開始(～8/29)
- ・夏期講習(各科目全10回)
 - ・6・7月学習結果配布(7月下旬)
 - ・休講日(8/9～15)
- 8月30日(月) 9月期開始(～9/22)
- ・保護者懇談(9/8～12)
 - ・サピックスオープン(9/12 中1～3)
- 9月27日(月) 秋期開始(～10/2)
- ・秋期講習(通常授業の時間帯を基本に)

※スペリアでは常時無料体験授業を実施しています。周りにお友達やお知り合いがいいたら、ぜひ当塾へのご紹介をお願いいたします。



夏期講習(7/19～8/29)

スペリアでは、夏期(7/19～8/29)の授業は夏期講習として各科目の総合力を高める指導を行います。

中学生部は、英語・数学80分×10回、国語・理科・社会40分×10回、高校生部は英語・数学100分×10回、国語・理科・社会100分×5回のカリキュラムを組んでいます。

欠席分の授業については映像配信または振替授業を行います。

1学期までに習った内容の復習、2学期以降に習う内容の予習、さらに、9月のサピックスオープンや学校で実施される模試に向けての応用・実践演習を行います。

塾の夏休み(8/9～15)

8/9(月)～15(日)は塾の夏休みです。この間、塾の業務は完全にお休みです。

上記以外の期間は、岡山校は月～土曜日で14:00～22:00の時間帯は教師がおりますので、自習・質問等の対応ができます。

保護者懇談(9/8～11)

お子様の現在の学習状況と学習アドバイス、9月期以降の予定、進学情報などについて保護者のみなさまと個別懇談を行いたいと思います。塾より来月案内の文書を配布しますので、お申し込みをお願いいたします。学校や学習についてのご相談、塾へのご要望などもご遠慮なくお伝え願います。

サピックスオープン(9/12 中1～3)

夏期講習受講後の力試しとして、下記の要項で、第2回サピックスオープン(YOZEMI SAPIX GROUP 主催)を実施します。お子様の学力の位置を全国標準でみる事ができる良い機会ですので、当日の受験をよろしくお願ひします。費用は9月期の学費の中で請求させていただきます。

<サピックスオープン>

- ①日時・時間割…9/12(日) 8:30 開場 9:00～9:50(国語) 10:00～10:50(数学)
11:00～11:50(英語) 11:50～12:20(休憩/軽食) 12:20～
13:10(理科) 13:20～14:10(社会)
- ②場所…スペリア岡山校、スペリア茶屋町校
- ③出題範囲…夏期講習の内容案内に示した通りです。
- ④結果…9/20(月)以降、成績表を返却します。

秋期講習(9/27～10/2)

例年、9月の最終週は休講としていましたが、年度当初にお伝えしましたように、今年度はこの期間に「秋期講習」を実施します。

詳細は来月お伝えしますが、通常授業の時間枠を基本にして、理科・社会の応用・実践力を養成する授業を予定しています。

自分の勉強法をもう一度考えてみよう

保護者懇談・生徒面談を通じて、学習習慣のつけ方、時間の使い方、苦手科目の勉強法などについてお話をしていますが、そのための参考になる本として、下の2冊を紹介します。学習の進め方で困ったとき、参考になる情報がいろいろ述べられていると思います。以前にも紹介しましたが、改めて自分の勉強法を考える際のヒントにしてほしいと思います。

- 「まんがと図解でわかる7つの習慣」(スティーブン・R・コヴィー監修 宝島社)
人生を「成功」に導くための7つの習慣について述べられています。監修者は世界で最も影響力のあるビジネス思想家の一人として知られています。全国の中学高校の生徒指導にも利用されている「7つの習慣」は要約すると下のようになります。
 - ①自分を変えようと常に意識する
自分の短所に気づき、問題への反応の仕方を変える。
 - ②なりたい自分を想像してから始める
目的を設定し、そうなるためにできることを考えていく。
 - ③重要なことを後回しにしない
後回しにしがちな健康管理や問題のフォローを怠らない。目的に合わせた時間の使い方を
する。
 - ④自分も相手も幸せな方法を探す
自分に有利なことばかりを選択しない。相手といっしょに向上する考え方にシフトする。
 - ⑤相手のことを心から理解する
相手の気持ちを自己解釈してはダメ。相手の立場になって話を進める。
 - ⑥対立は成果への第一歩と考える
反対意見をつぶしたり、妥協するのではなく、2つを合わせたもっといい方法を考える。
 - ⑦肉体や精神を日々磨く
自分自身のポテンシャルを高めるため、自分への投資を続ける。

- 「中学生の勉強法」(東京大学「学習効率研究会」編 二見書房)
勉強法についての本はいろいろありますが、本書は勉強法を考えるうえで必要なことがバランスよく幅広く書かれているので、みなさんが個々に抱えている勉強法の悩みに対して解決法が示されていると思います。構成は下の通りです。

序章：まちがった勉強法では成績は伸びない

第1章：苦手を克服するプロセスに成績向上のカギがある

第2章：英語の成績を伸ばす最短メソッドを教えよう

第3章：数学の成績を伸ばす最短メソッドを教えよう

第4章：国語の成績を伸ばす最短メソッドを教えよう

第5章：理科の成績を伸ばす最短メソッドを教えよう

第6章：社会の成績を伸ばす最短メソッドを教えよう



国公立大学入試の動向ー2021年度入試の結果より

2021年度の大学入試は、センター試験が廃止され共通テストが導入された初年度の入試となりました。共通テストの概要についてはスペリア便り6月号でお伝えしましたが、今回は一般入試の動向について、目立ったところをまとめてみました。

①国公立大学の2021年度の志願者数と前年度比

	2021年度(人)	2020年度(人)	対前年度比(%)
前期	235,403	243,052	97
中期	29,091	31,426	93
後期	160,921	165,087	97
合計	425,415	439,565	97

- ・18歳人口の減少により、前期日程志願者は2年連続減で過去最少を更新
- ・後期日程は廃止・縮小の流れで志願者は減少しているが、共通テストの平均点上昇により理系を中心に後期までの出願が増え、倍率は上昇
- ・学部系統別(人文・社会、理工、農・水産、医・歯、薬・看護、教員育成)の傾向
 - >薬・看護を除いて前年度よりも出願者数減(薬・看護は前年比106%)
 - >教員育成は減少傾向が続くが、地元志向や資格系統などの人気で減少幅小
 - >「理」系統の下げ幅が少なく、堅調な人気を維持
 - >ここ数年人気のあった「経済・経営・商」「国際」の志願者は昨年度から減少傾向

②難関国立大学の動向(北海道、東北、東京、東京工業、一橋、名古屋、京都、大阪、神戸、九州)

- ・対前年度比で志願者数が増加したのが一橋大(101%)、名古屋大(104%)、神戸大(110%)、九州大(105%)で、大幅に減少したのは北海道大(85%)、東京工業大(85%)、大阪大(82%)
- ・神戸大は、京都大・大阪大(いずれも志願者減)を敬遠した生徒が集まったと考えられる
- ・東京大の志願者数は前年度比98%と微減で、現役生志願者の割合が高まっている

③2021年度入試の主な変更点

- ・2次試験や後期試験の募集停止
埼玉大-理学部、横浜国立大-教育学部以外のすべての学部、北海道大-歯学部、東京工業大-全学部など
- ・出願基準となる共通テストと2次試験の得点割合変更や倍率のみの設定への変更
 - >東北大-経済・歯学部、名古屋大-医学部などは2次試験の得点割合を高める
 - >京都大-医学部、大阪大-歯・薬・工学部などは倍率のみで得点による基準なし
- ・調査書や志望理由書の合否判定への積極的な活用
 - >東北大、埼玉大、東京外国語大などでは合否ラインで並んだときの判断材料に
- ・共通テスト英語の扱い
 - >千葉大-文学部、東京大などでは共通テストのリスニングを入試科目に追加